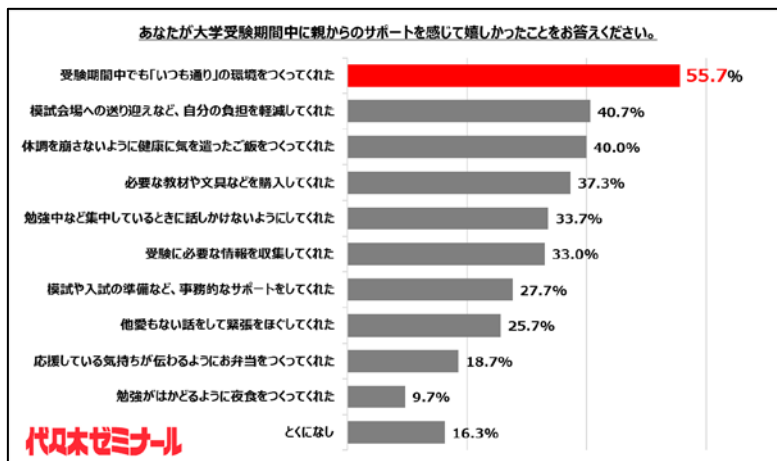
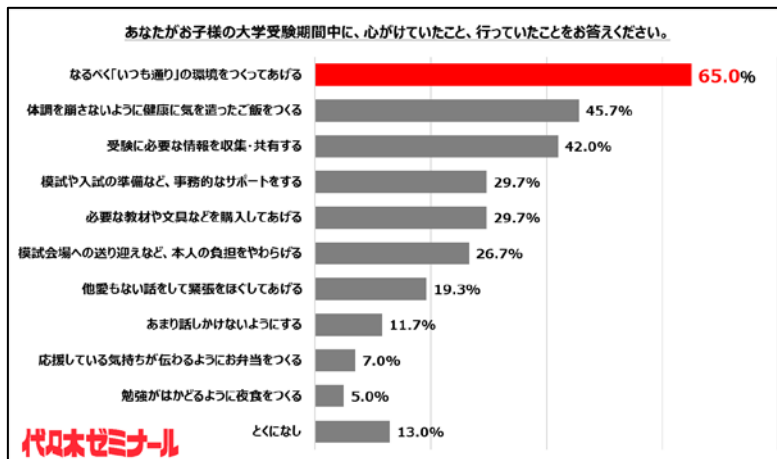


約7割の親が受験期間中に「いつも通りの生活をつくってきた」と回答 代々木ゼミナール、元受験生の親子を対象に実施した調査結果を公開 ～調査結果をもとに作成したショートムービーも公開～

学校法人高宮学園代々木ゼミナール（本部：東京都渋谷区／理事長：高宮英郎／以下、代ゼミ）は、直近3年間に大学受験を経験した、親／子ども各300名ずつ、計600名を対象に独自調査を実施し、その結果を公開いたします。

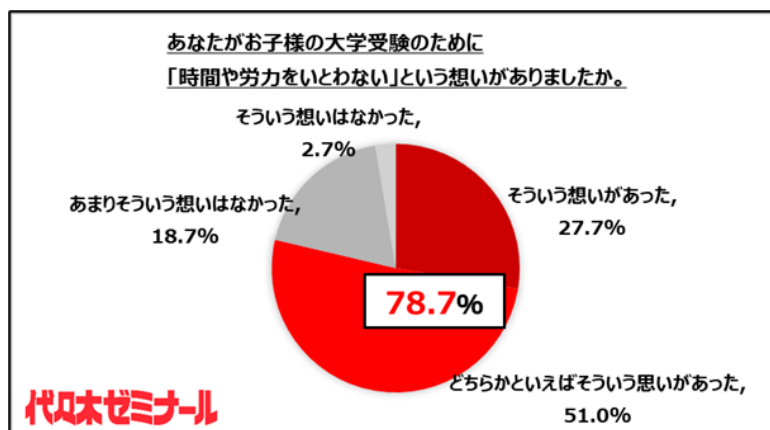
2020年の受験生は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による緊急事態宣言の発令や、各校の休校措置、ならびにオンライン授業の導入などによって、いつもの大学受験とは全く異なる環境で受験に挑むこととなりました。自宅での学習時間が増えることで、重要になるのが「親子・家族の絆」であると考え、代ゼミでは「親子それぞれの受験」について調査を実施し、予備校としてどのように受験生と保護者の皆さんに寄り添っていくのかをあらためて考え直しました。

親も子も「いつも通り」の日々を求めている



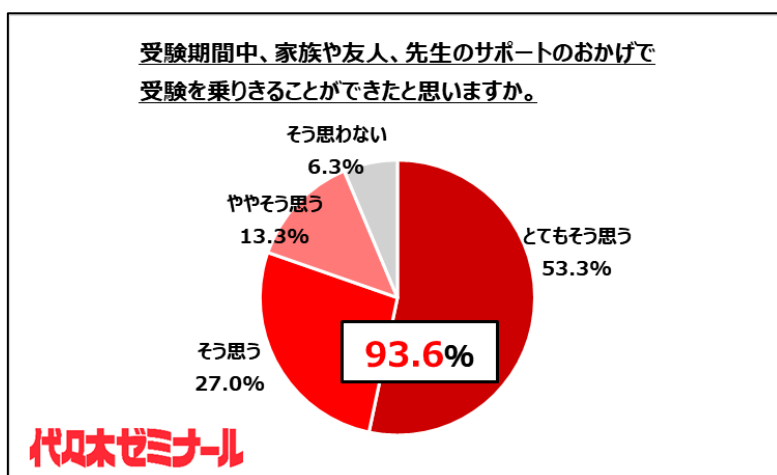
親と子どもそれぞれに大学受験期間中に心がけたこと／嬉しかったことを聞いたところ、ともに「いつも通り」の環境がトップとなりました。今年の受験生は新型コロナの影響で、「いつも通り」な状況が少なかった中、家で過ごす時間が長かったであろう受験生は、家族からの「いつも通り」のサポートによって、支えられていたことがわかります。

約 8 割の親が子どもの大学受験のために時間や労力をかけることをいとわない



78.7%の親が「子どもの大学受験のために時間や労力をいとわない」と回答している。受験生だけでなく、受験生の子どもをもつ親もまた、受験に対する思いが強いことがわかりました。

家族や友人、先生のサポートが受験の支えに



全体の9割以上（93.6%）は「家族や友人、先生のサポートのおかげで受験を乗り切ることができたと思う」と回答。日常のサポートこそが、受験生への活力となっていることが改めて認識できる結果となりました。

<調査概要>

- ・調査地域：全国
- ・調査対象：3年以内に大学受験を経験した元受験生 300名
3年以内に大学受験を経験した子を持つ親 300名 計 600名
- ・調査時期：2021年2月8日（月）～2月9日（火）
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査機関：株式会社 one

調査結果をもとに作成したショートムービーも公開中！

大学受験は、受験生の努力だけでなく、サポートする家族の存在があっはじめて乗り越えられるもの。今回のショートムービーでは、「コロナ禍の受験」という非日常的な生活の中での母親からのサポートと、孤独を感じながらも受験に挑む娘の姿が描かれています。

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により、ただでさえ忙しい日々を過ごす受験生は、さらに過酷な環境で受験に望むことになりました。学校に行けない、友達とも会えない。そんな状況でも支えてくれる家族の温かさを今一度感じ、あと1年頑張る皆さんへエールを届ける作品に仕上げました。

なお、今回の制作に際して実施した独自調査で、過去3年の間に大学受験を経験した元受験生300名に調査したところ、全体の9割以上が「受験期間中、家族や友人、先生のサポートのおかげで受験を乗り切ることができた」と回答しており、人と人のつながりは、受験生にとっても大きな活力となっていたことがわかります。



動画 URL : <https://youtu.be/Vx-vBWRgXRc>

- ・ <本件に関する報道関係のお問合せ先>
- ・ **SAPIX YOZEMI GROUP**
- ・ 担当：代々木ゼミナール広報企画部（加藤）
- ・ TEL : 03-3379-5221 E-mail : pr_info@yozemi.ac.jp
- ・ 代々木ゼミナール Web サイト : <https://www.yozemi.ac.jp/>